

授業科目	臨地実習Ⅲ (2019 年度入学生)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT32303J		
開講年次	3~4	開講時期	後期・前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	坂田 郁子、永原 真奈見							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本科目は、学外での実習を授業の中心に位置づけ、実務体験を通じた実践的教育から構成されている。</p> <p>1. 保健所、あるいは市町村保健センターにおける実習:学内で修得した知識・技術を、保健・医療・福祉・教育等の連携により展開されている実践活動の場において適用し、管理栄養士に必用な専門の知識や技術の統合を図る。また、公衆栄養活動で必要とされる課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うことができる総合的な能力を身に付ける。</p> <p>2. 実習期間:保健所、市町村保健センターのいずれかにおいて 1 週間の臨地実習を行う。</p> <p>3. 事前指導・事後指導:実習期間と別日程で、実習がより効果をあげるよう事前学習・実習報告会を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 保健所・市町村保健センターの性格を理解し、行政管理栄養士の業務について説明できる。</p> <p>2. 地域の実態に応じた公衆栄養プログラムを実践、評価することができる。</p> <p>3. 多職種との連携を図ることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	0	45	55	100	
知識・理解 (DP1-1)						5	5	
知識・理解 (DP1-2)					5		5	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					20		20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)					20		20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)						20	20	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)						30	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1)実習先の地域診断を行い、発見した課題から公衆栄養プログラムの立案までをPDCA サイクルに基づき、具体例を用いて解説することができる。 2)管理栄養士以外の多職種との連携の具体的な内容について理解し、実践することができる。				1)実習先となる地域の特性を理解し、実際に行われている公衆栄養プログラムの成り立ちについて説明することができる。 2)対象者に応じた、栄養教育授業を適切に実施することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	各保健所・保健センターにおける実習(1) 実習先施設が計画したスケジュールに従う	実習	地域の現状および実態把握を 既存資料および実習先地域 のホームページ内資料により 行う。 行政栄養士の活動内容につ いて、各地域の業務概要を参 考に復習しておく。 実習施設から指示された事前 課題の作成および改善。	180
2	各保健所・保健センターにおける実習(2) 実習先施設が計画したスケジュールに従う	実習	実習施設から指示された事前 課題等の改善・訂正および 発表の準備。	60
3	各保健所・保健センターにおける実習(3) 実習先施設が計画したスケジュールに従う	実習	実習施設から指示された事前 課題等の改善・訂正および 発表の準備。	60
4	各保健所・保健センターにおける実習(4) 実習先施設が計画したスケジュールに従う	実習	実習ノートのまとめ	60
5	各保健所・保健センターにおける実習(5) 実習先施設が計画したスケジュールに従う	実習	実習先施設指導者とともに、 反省会を行う。 実習前に抽出した「課題」につ いて、その改善策を修得する ことができたか？また、自己 目標が達成できたかについ て、まとめる。	180
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>臨地実習 3 は管理栄養士になるために必要な教科です。</p> <p>公衆栄養学 1 および 2, 地域栄養活動論, 公衆栄養学実習のテキストおよび授業内容をよく復習して臨む。厚生労働省や実習施設、関連施設のホームページをよく見て、実習施設に関する理解も深めておく。</p> <p>また、実習先において栄養指導の機会を設けていただけることがあるので、疾病の一次予防の理論(臨床栄養学等)についても復習しておく。</p>			
テキスト	<p>「公衆栄養学」古野純典/吉池信男/林宏一 編(改定第7版) 南江堂</p> <p>「管理栄養士・栄養士必携」(2020 年度版) 公益社団法人 日本栄養士会 編(第一出版)</p> <p>臨地実習ノートは別途配布する。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民衛生の動向」(厚生統計協会)</li> <li>・厚生労働省、及び、実習施設関連のホームページ</li> </ul>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>近隣で行われる健康フェアなど普及啓発活動に日頃から目を配り、積極的に参加しておく。</p> <p>また、自宅近くの保健所・保健センターに出向き、フリー配布のリーフレット等有用な情報を事前に収集しておく。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>知識の理解度は、下記1～3において把握する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習ノートに準じた事前学習</li> <li>2. 実習を終えての振り返りコメント</li> <li>3. 実習ノートの中に、実習期間中に学んだことが反映されているかどうか</li> </ol> <p>技術の到達度は、下記4～6において把握する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 事前課題の質的レベルと完成までのスピード</li> <li>5. 実習先施設の指導担当者(管理栄養士)による評価</li> <li>6. 巡回指導による実習態度の観察による評価</li> </ol>			

